



とつか
2018年10月会報 第288号

国際会長(IP) Moon Sang Bong (韓国)

2018 主 題 “Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東日本区)

主 題 “Action” 「アクション」

～ スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

主 題 「為せば、成る」 “No challenge, No fruit.”

2019 スローガン 「ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」

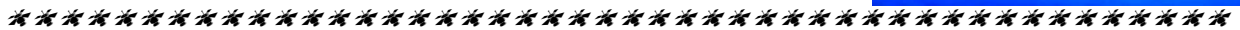
湘南・沖縄部部長 佐藤 節子 (厚木)

主 題 「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

クラブ会長 浦出 昭吉 「今こそ会員増強目指して初心に帰ろう」

主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 鈴木 ひろ子

メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝



会員ひと言

吉原 訓

◎今月の聖句◎



～ガンコジジィ 志願者募集中！～

今、小学校が病んでいる。

ある公立の学校の校長先生が嘆いていました。

PTAの役員さん数人が突然校長室を訪れ、様々なクレームを持ち込むというのです。さらにその話が国会議員や市会議員に伝えられ、果ては教育委員会が動き出すという始末です。クレームの一つは、他に直すべき所があるのに、校長が自室の床を張り替えたというものです。実態は、校長室は学校の応接室でもあり、剥がれやカビの状態を直すために必要と判断し発注したものです。

他にも多くの不条理なクレームがありますが、一番の問題点は、議員の動きや教育委員会の対応です。議員たちは、その件に関して、一度も現場に出向いたり、問い合わせをしたりせず、直ちに話を教育委員会に持ち込んでいます。その行為は誠に無責任で、PTAのクレーマーと何ら変わらない行動と言えます。教育委員会の担当者の姿勢も“もめ事は避けてくれ”の考えしか見えません。理解に苦しむような教育委員会の諸問題は文科省のみならず、今の教育の世界全体の体質なのかもしれません。

年寄りのたわ言、と言われてもかまいませんので、現役世代に物申す年寄りになってやる、そんな気持ちのこの頃ですが、クラブの皆さんは いかがお考えでしょう。

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

—ヨハネによる福音書15章5節—

一読して意味の良く分かるみことばです。

この9月8日に開所したワークサポートセンター

‘レザン’での献堂・開所式の折の聖句です。

レザンとはフランス語で「ぶどう」を意味します。

‘アンジュ’に次いで、地域に根を張り、障がいのある方が多くの実りを感じることができるようにとの願いを込めた横浜YMCA二つ目のワークサポートセンターです。

強調月間 EMC/E・YES

EMCのE、つまり、今月はExtension—クラブ拡張—の月です。湘南・沖縄部では、区の指導の下、部エクステンション委員会(辻剛委員長)を立ち上げ、検討・協議に入りました。‘E’に関し、大いに議論しましょう。

それと、YES、Y's Extension Support、E活動を支援するためのエリア・レベルの基金のことです。区から拠出された献金(@500円以上)はE活動に用いられます。

9月在籍者数			9月出席者数			出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	11	メ	ン	10	94%	他	(円)		(g)		(円)	(円)		(円)
メ	ネット	8	メ	ネット	3		前	月	迄	0	0	0	0	0	0
			ゲ	スト	ら		当	月		0	0	0	0	0	0
計	19		合	計			累	計		0	0	0	0	0	0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

☆湘南・沖縄部 部大会 (第1例会振替え) 報告☆

浦出 昭吉

日時：2018年9月15日(土) 14:00~18:00

会場：レンブラントホテル厚木 3階・相模の間

参加者：(メン) 岡・加藤・瀬戸・土方・浦出

(メネット) 加藤・吉原 計 7名

心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう! ワイズメンスクラブ国際協会 東日本区 第22回湘南・沖縄部 部大会



午前中に開かれた運営検討委員会に出席した後、仲間と1階ロビーで軽食を摂り、時間調整をして会場へ…。思い出しました、3年前の厚木大会の際の晩餐会が正にここで開催されたことを…。アア ナツカシィ…。お顔馴染とご挨拶を交わすうちに堀田書記の声が、場内に響きます。

三上淳鎌倉クラブ担当主事による開会礼拝の後、部大会へと進み、佐藤部長による開会点鐘・挨拶、ワイズソング・信条、ゲスト紹介などがありました。出色だったのは辻剛委員長による‘エクステンション委員会報告’、委員長任せと思いきや呼ばれて加藤ワイズとともに壇上へ…。ネムケの吹き飛んだひと時となりました。第一部の式典はこれで終わり、小憩を挟んで本日のメイン、第二部の記念講演に入りました(写真)。講師は、北海道・美瑛町にお住いの、とても83歳とは思えぬ宇宙学の専門家で大学教授の佐治晴夫先生、宇宙の成り立ちと人間の一生を比べながら、ヒトとその進化の状況から「いのち」の誕生と、“あなた自身が「星のカケラ」である”と喝破され、果ては“人間も時空の一部”と断定、時に“すべて女性としての胎児の一部が男性へと分化”して男性が誕生、終わりに、“長生きのコツは一日を生き切ること。”と締め括られた。➡

そして、賑々しく記念撮影があつて、第三部の懇親会へと移りました。指定のテーブルに着席、乾杯の発声は部監事の鈴木茂さん、お待ちかね、お楽しみの時間となりました。

十分な飲み物と次々と運ばれるお料理に、場内は程なく交流のルツボと化しました。区大会やアジア大会のアピール、そして、クラブアピールでは、たまたま席を外されていた加藤ワイズを除いて壇上に上り、主に岡ワイズ再入会のアピールを中心に事無きを得ました。隣り合わせた谷治さんとは久しぶりです。時折、体調が崩れることや、現在でも以前の様な旅行業をやっていること、トツカはちょっと遠いね…などの話題に花が咲きました。また、反対側に席を占めておられた沖縄那覇の玉城哲人会長とも話が弾み、現地クラブの状況や顔見知りの方たちの動向などについて、細かく・具体的に伺うことができ、珍しいお土産まで頂戴してしまいました。岡さんは…と見ると、その健啖ぶりをいかんなく発揮されています。

そして、‘グランドフィナーレ’となり、70名全員が手を繋ぎ厚木クラブのメンバーのリードで♪ふるさと♪を合唱、そのままYMCAの歌、森田次期部長の閉会点鐘で幕となりました。



☆第1回部運営検討委員会から☆

浦出 昭吉

日時：9月15日(土) 11-12.

会場：レンブラントホテル会議室

出席者：金子・佐藤・森田・

玉城・千葉・浦出・加藤・

岡・堀田・峯尾・岡田・伊藤



標題の委員会は、具体的には、次期部長となる森田幸二郎さんが沖縄クラブであることから、彼の年度にどの程度こちらで開催する行事等に部長として参加等が可能か…ということの委員会です。

年4回のY-Ys協議会、横浜YMCAのチャリティーランやエイズフォーラム、そして、部の行事である部大会・部評議会・部役員会・YMCAとの合同新年会、それとクラブ訪問がその主なモノです。

要は、これらの行事に沖縄から出て来ることで、旅費・宿泊費が必要で、部としてはどの程度を予算化してそれらに充てるかが課題となるところであろうが、当日の会合では、旅費等の関係は次回委員会となり、もっぱら行事等への参加・不参加に関する質疑が相次いだ。部則の代行規定(部則4条2項)の適用でよいという意見が大勢を占めた。旅費の関係については、一案として、区の旅費規程を参考に運用を図ることが考えられる…。それと、もう一つ、部長という立場からすれば、‘横浜・沖縄のYMCA云々’は無意味に近いと思われるが、いかがであろうか…。

☆第2例会報告☆

加藤 利榮

日時：9月25日(火) 18:30~20:00

会場：湘南とつかYMCA 205号室

出席者：(ゲスト) 尾原萌子さんーレザン責任者ー

(メン) 浦出・岡・佐藤・服部・土方・吉原・加藤

(メネット) 吉原

ー以上 9名ー

◇ 報告事項

- ① 8/21(火)：鎌倉・とつか合同納涼会 (9月号掲載)
- ② 9/8(土)：ワークセンター「レザン」献堂・開所式(別掲)
- ③ 9/15(土)：第22回湘南・沖縄部 部大会(別掲)
- ④ YMCA関係：第21回横浜YMCAチャリティーラン
とつかには、コースガードをお願いしたい。(了承)

◇ 協議

- ① 10月例会：ユースに関する話(瀬戸担当主事)
- ② 「レザン」支援の件：尾原さんから、当面の運営状況と今後の見通し等について、具体的な説明があった。
その結果、レザンにて、12月第1例会を鎌倉クラブと合同で開催する。詳細は、おって詰めることとした。
- ③ You & I コンサートの件：参加者にチケットを配布した。
- ④ YMCA関係：11/3のY祭～ワイズバザー～を成功させよう…と、‘献品’‘前日の値付け’を確認した。ー以上ー

【特別寄稿】

☆京都キャピタルクラブのこれまでの取り組み☆

日本区40代理事 岡本 尚男

今年の11月3日に京都キャピタルクラブは35周年記念例会を開催します。この間、クラブでは、‘会長は1回限り’‘役員会はメイキヤップの対象にしない’‘月に2回の例会は社交場であり、交流と学びの場とする’‘委員会は月に1回の懇親の場として開催する事’を厳守してきました。

会員数は33名で設立当初の38名を割り込みましたが、メンバー候補者もいますので、いずれは3年前の42名に迫ることでしょう。平均年齢は56歳です。今までに子クラブを設立しています。今年の会長は24歳、入会13年目、結婚、3人の子供に恵まれ若さ溢れるイケメンです。メネットもメネット会長として、幼子の面倒を看ながら頑張っています。

人が人を呼び寄せる魅力あるクラブ例会がその基礎になり、出席率は90%台を維持しています。区理事に2名、部長に1名、区・部役員に数名を輩出、京都YMCAからも頼りにされているクラブとなり、運営委員も輩出しています。

ワイズメンズクラブの基本的な学びは「ワイズ読本」を読み込み、Paul William Alexanderがこのクラブを設立した経緯、国際聖句の解釈、YMCA維持会費、クラブ会費の適切な理解・納入、さらに奉仕の心を養うための学びも大切な事柄です。

(京都キャピタルクラブの岡本さんから 多分に示唆に富んだ原稿をお寄せ頂きました。有り難うございました。)

☆区文献・組織検討委員会から☆ 若木一美

今期、上記委員を委嘱されました。8月27日第1回の会合が開かれ、見渡せば委員11名のうち理事経験者が半数を占め、なぜ私が…という思いでした。

当日は、検討内容と役割分担が議題となり、前期からの継続「会員増強に関する提言」、役員の手不足等から「役員等の任期」、「事業分類と4事業主任の担当分野の見直し及び4事業委員会規則の作成」、「定款改訂に伴う委員会規則(4事業委員会を除く)等の整合性の点検」、「ワイズ用語・略語集・入会式文等の見直し」、「東日本区大会マニュアルの作成」の6項目を検討することとなり、担当委員を選出しました。

前述のように、理事・部長・事業主任を歴任された賢人(wiseman)の中で、“ポーッと生きている”私は、委員長のコッコちゃんに叱られないように気を付けて任に当たります！

委員会終了後、四ツ谷駅近くで懇親会が用意されていたので、逃げ足早く玄関に降りると、強烈な雷鳴が…！ 利根川・駒田両氏と、雷雨にならないうちに急げ…と、店内に駆け込めば重熱帯にいるような雨が…。あとが来られないので、3人で飲み物を頂いていると、藤井・栗本・板村・増田・中村・宮内・小山の「ミズもしたたる…7人衆」が登場、温かい飲み物で濡れた衣服をノドから乾かし始めておられました。

帰る頃にはさしもの雨も止みましたが、あとで、ニュースで大きく報道され、記憶に残る第1回会合となりました。

☆レザン開所式に思う☆ 加藤 利榮

9月8日(土)10:00、横浜 YMCA

2カ所目のワークサポートセンターが戸塚町に開設され、その献堂・開所式に出してきました。名付けて「レザン」、
“自分らしい生き方を見つけられるように…社会参加の入口の場所として、

地域活動支援センター障害者地域作業所を開設します。”と。そして、その場に集うすべての人を大切な存在として尊重し、居心地の良い空間をつくることを目標に開所されました。

さて、上に‘2カ所目’と書きましたが、初めの1カ所とは、本年で開所11年目を迎えたご存知、‘アンジュ’を指します。とつかクラブは、アンジュへの支援として、当初、スポーツセンターでの出張販売のお手伝いをしたりしていましたが、その後、細く・長くということで、例会の都度、人数分の食パンを購入することで現在に至っております。

さて、今回のレザンについても、田口総主事からのたつてのご要望も有り、クラブとして何らかの…と考えていたところ、この予告記事を載せている先月号のブリテンをご覧になった大久保知宏地域奉仕・YMCA サービス事業主任(宇都宮クラブ)から、「(レザンについて)他のクラブにも支援の輪を広げる取組みを考えてみませんか…」というご要望・ご指示をいただきました。クラブとして、近隣クラブに呼び掛けるなどして、早急に何らかの支援策を講じたい考えです。

式後の茶話会では、地元商店会長さんらとお話を交わし、正午過ぎ、総主事の感謝のご挨拶をもって散会しました。

☆You & I コンサートが今年も☆ 吉原 和子

日時： 9月29日(土) 14:00~16:00

会場： 都筑区公会堂

参加者： 渡辺慶子さん・加藤ワイズ・吉原メネットの3名

‘あなたとわたし、障がい児・者とともに’をテーマに、今や恒例となったこのコンサートも今年で数えて8回目、クラブとして毎年チケットをまとめ買いし、支援の一端を担っています。

友人の渡邊さんを誘い、会場の都筑公会堂へ…、見渡したところ八分の入り、これまたお顔馴染の横浜室内合奏団の皆さん、中ほどに20分の休憩を挟んで、前半が楽団演奏、そして後半は、「マッチ売りの少女」と題した小歌劇(写真)、こちらは時折笑いが場内から挙がってまずまずのムード、出演の皆さんにお菓子がプレゼントされたりで、終わりは‘花は咲く’を客席を巻き込んでの大合唱、大きな拍手のうちに終わりました。



☆YMCA だより☆

瀬戸 俊孝

～ボランティアに感謝！

年に一度のプール掃除～

今年も 年に一度のプールの大掃除を実施いたしました。湘南とつかYMCAのプールは5コース、25mの一般のプールと同じくらいの大きさですが、床が可動床になっており、もっとも深いところでは水深4mまで下がります。幼児が利用する時は、60cmまで浅くしてレッスンをを行います。夏のこの時期の掃除の時だけ、年に一度、水をすべて抜いて入れ替えます。水の抜けたプールは、プールサイドに立つのも怖いくらいの深さがあります。

プール掃除には、毎年多くのボランティアの方々、ウエルネス成人会員・キッズ会員・4Fスポーツ専門学校の学生・リーダー・スタッフら、今年も総勢54名の方々が参加してくださり、実施することができました。途中、‘スイカ割り’や昼食を参加者全員でとり、お陰でプールはとても綺麗になりました。

YMCAのプールは、多くの方々に守られているのだと実感できた一日でした。



☆今月の歳時記から☆

‘菊人形 きくにんぎょう’ と ‘新酒 しんしゅ’

‘菊人形’、菊の花や葉を衣裳に真似て作られた人形のこと。歌舞伎・狂言の舞台面などを写し出して見世物として興行する。明治末までは東京・本郷の団子坂が有名だった。森鷗外の「青年」には、この団子坂の菊人形のことを書かれています。現在では大阪・枚方の菊人形が有名です。またこの季節には各地で観菊会が催される。新宿御苑の観菊会は有名ですね。

菊人形たましひのなき句かな	水 巴
人形がかざしてゆるる笠の菊	秋桜子
菊人形泣き入る声のなかりけり	麦 南

次に‘新酒’、もともと昔は、新米で醸造した酒は神に供えたようです。豊作を神に感謝する心からといわれる。

しかし、現在は「寒造り」が盛んになって、濁酒（どぶろく）以外の新酒で秋のうちに造られることは、まずないようです。ただし俳句では、秋の季語として扱っています。

升飲の価は取らぬ新酒かな	蕪 村
ある時は新酒に酔うて悔多き	漱 石
貧農の足よろよろと新酒かな	蛇 笏

(午)



☆10月・11月のこよみ☆

- >10/6(土) 第1例会：湘南とつかYMCA ホール・18:30
- >10/20(土) 横浜YMCAチャリティーラン・MM21地区
- >10/23(火) 第2例会：湘南とつかYMCA 205号室・18:30
- >11/2(金)～3(土) Y'sバザー一値付け・Y祭：1階ホール
- >11/20(火) 第2例会：湘南とつかYMCA 205号室・18:30
- >12/20(木) 横浜YMCA クリスマス

～10月会合のご案内～

- ◇ 第1例会：10月6日(土) 18:30
湘南とつかYMCA 1階ホール
卓話「湘南とつかYMCAのユース・リーダー会」
講師：担当主事 瀬戸俊孝さん
- ◇ 第2例会：10月23日(火) 18:30
湘南とつかYMCA 205号室
大事なご相談がありますので ご出席願います。
～HAPPY BIRTHDAY～
有田 美幸さん 10月11日
若木 祥子さん 10月9日

【掲示板】

会 長

◎ 横浜YMCAチャリティーランについて

- ア 日 時： 10月20日(土) 8:00～14:30
- イ 場 所： 横浜MM21・「汐入の池」周辺地域
- ウ 担 当： コースガード
- エ 参加者： 加藤・浦出(2)・土方・吉原ネット
- オ その他： とつかクラブは、例年のように上記担当となります。現地では、YMCAの専門学校生も、共に担当します。

◎ Y祭 ‘ワイズバザー’ に向けて

- ア 上の‘こよみ’にもあるように、11月3日は‘横浜YMCA・い～とつか祭’です。
- イ 今年から、私たちの要望で、昨年までの通称‘のみの市’が、‘ワイズバザー’とそのネーミングを一新しました。
- ウ クラブの皆さん、その名に恥じないように、‘献品’、そして前日の‘値付け’から当日の‘販売’に至るまで、特段の注力をお願いします。
- エ 特に、前日の‘値付け’と3日当日の‘販売’には、お身内やお友だちやお知り合いをお誘いいただき、お手伝いしていただけるよう願います。
- オ 例年、この‘祭’は、横浜YMCAが実施する国際・地域協力募金に少しでも協力できるようにと、実行委員会(勝田雅文委員長・運営委員)を立ち上げ、若木ワイズも委員の一人です。

- ◎ 2ページの‘部大会晩餐会’スナップは、横浜YMCA広報室池田直子主査から頂きました。

【後記】

天候不順と言われながらも、季節は確実に、初秋・中秋・晩秋へと移っています…。ご自愛のうえ、ご活躍ください。(TK)